



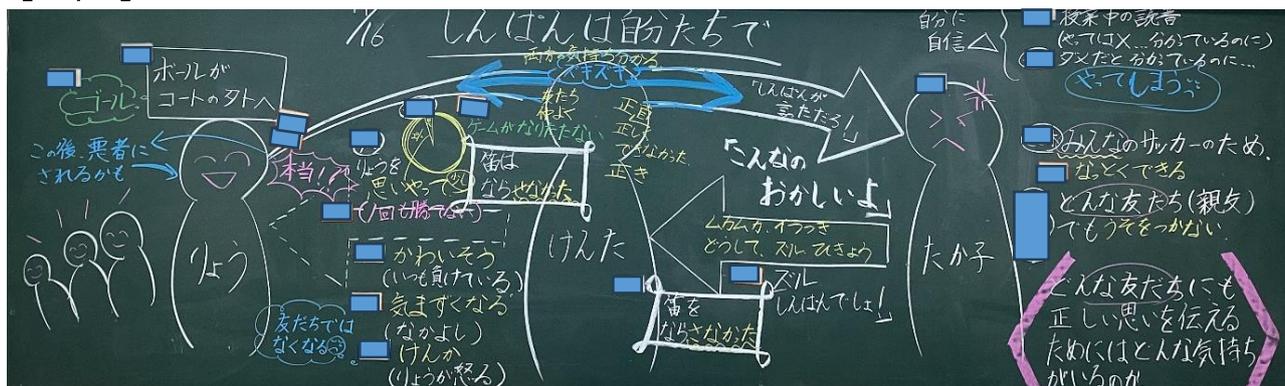
# あったかハート推進週間の取組（11月）

11月は、以下の内容で道徳科の授業を行いました。

月	期 間	内 容
11月	11/13（月）～17（金）	道徳科の授業③ 内容項目：公正、公平、社会主義

## 1 実際の授業

### 【3年生】



3年生は資料「しんぱんは自分たちで」を読んで、誰に対しても正しい思いを伝えるためにはどうしたらよいかを話し合いました。

まず、笛を吹けなかったけんたの気持ちについて話し合いました。「仲良しのりょうが負け続けていたから勝たせてあげたい」「笛を吹いたらりょうと気まずくなる」など、けんたに共感する意見が多く出ました。一方で、「笛を吹かないと試合が成り立たない」「友達のことを思いやることが、ルールを守らなくてもいい理由にはならない」など、審判としてのけんたの気持ちを考える子供もいました。“友達のことを考えるけんた”と、“審判としての責任があるけんた”という立場で考える中で、話し合いは次第に、『心がずきずきと痛んだけんたの気持ち』に焦点化されていきました。その後、「間違ったことだと分かっているが正直になれなかったことで、ずきずきした気持ちになったのではないか」と考えていきました。そして、みんなのことを考え、正しい思いを伝えることが必要だと考えを深めていきました。

授業の終わりでは、よくないと分かりながら正しい行動ができなかったときの自分を見つめ直すとともに、みんなのことを考えてルールを守ることの大切さについて改めて確認しました。

## 2 各学年で行った授業の感想

- ・みんなが楽しくするには、強く言いすぎないことが大事だと思いました。（1年生：みんなとたのしく「じゃんけんぽん」より）
- ・机を拭くときは、仲のよい友達の机もそうでない友達の机も全部ピカピカにして、悲しい気持ちの人がいなくなるようにしたいです。（2年生：分けへだてない心「つくえふき」より）
- ・友達でも、その友達が悪いことをしたら「だめだよ」と注意しようと思います。（3年生：正しく強い心「しんぱんは自分たちで」より）
- ・障害がある人に絶対に差別をしてはいけないと思いました。（4年生：だれもがわけへだてなく同じように生きる「ヘレン・ケラー物語」）
- ・いじめられている人がいたら、ただ見ているだけはやめようと思います。なぜなら、少し想像しただけでも悲しいからです。（5年生：不正に立ち向かう強さ「いじめをなくすために」より）
- ・人権がないと生きていけないし、自由がないと平等に過ごせないと思いました。（6年生：正義の実現「奴隷解放の父リンカン」より）